



ビジネスマンの3人に1人は住宅リフォームを計画中。

ビジネスマン1000人アンケート調査(日経産業消費研究所)

リフォームしたい場所のトップ3は「浴室」「キッチン」「居室」

全国のビジネスマン1000人を対象としたアンケート調査で、30.9%の人が現在の住まいの改装を計画していると回答しました。しかも、そのうち約4割が3年以内の実施を計画しているそうです。

リフォームしたい場所の上位にはトップの「浴室」をはじめ、「キッチン」「トイレ」「洗面所」が並び、やはり水回りへの関心が高いことを示しています。(図1)

改善したい項目として、「浴室」では①浴槽②壁③空調・換気④床。「キッチン」では①収納②コンロ③水回り④換気・通気。「居室」でも①収納②冷暖房設備③床となっており、空気環境についての意識が高まっていることが分かります。

改装の目的は「修繕」よりも「豊かな生活」の実現

また、具体的なリフォーム事例を挙げて関心の有無を尋ねた調査でも、上位5項目のうち、「癒し効果」や「バリアフリー」に関する事例が2項目を占めており、「生活環境の改善ニーズ」が読み取れます。また、居室についても趣味や嗜好への関心の高さが顕著です。(図2)

リフォームを計画している人の多くは、単に新しい設備に入れ替えたり傷んだ床・壁を修繕するというのではなく、もっと快適に、より安全に、そしてより心豊かな生活を実現したいと願っています。リフォームを受注する際には、お施主様のそういった「想い」を十分に汲み取って、具体的に反映させたプランをご提案をしたいものです。

図1 リフォームを計画している場所(複数回答)

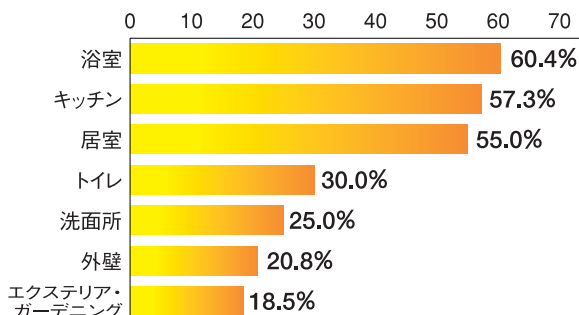
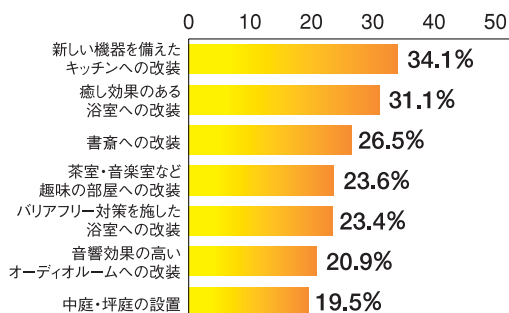


図2 リフォーム事例への関心(複数回答)



出所：日経産業消費研究所
「ビジネスマン1000人アンケート(2003年7月実施/有効回答842人)」より

くうきのはなし

意外に知らないその役割～窒素がなければ生きられない!

生物が生きていくうえで、酸素が欠かせないことは良く知られています。ところが「空気の体積のうち78%を占める窒素の役割は」と聞かれると、返事に詰まってしまう方も多いため…。窒素の名は、生物を窒息させることから付けられたほど反応性の低い気体。食品の袋などに、変質防止のために封入されるくらいしか用途はないのでしょうか。とんでもありません。長い生命の歴史の中で、生き物たちは一連の分業によって窒素を上手に利用してきました。仕組みは、こうです。まず細菌が空気中の窒素を体内に取り込んでアンモニアに変え、アンモニアに含まれる亜硝酸は酵素によって硝酸イオンに変えられます。植物は硝酸イオンを取り込んでタンパク質を

合成し、タンパク質は動物の体を作り、動物の死骸は別の細菌がアンモニアや窒素へと再分解するわけです。つまり、窒素は私たちの体を作る材料として欠かせない元素のひとつ。ダテに地球上に存在しているわけではないのですね。

